

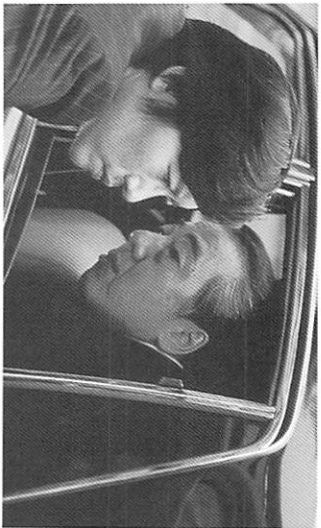
京都のハリウッド通信

あの「仁義なき戦い」が川口松太郎・佐々泰夫まで70年がかりに復活を期して「火中の栗」を撮った。このことをどう思っただろうか。

誰かそのタイトルは聞いたことがあるだろうか。「仁義なき戦い」は巨匠・深井成三監督の演出で、東映京都撮影所にて撮影。70年に公開された大ヒット、ヤクザ映画のイメージを一新したのみならず、日本映画の大イボがっとなった名作である。原爆投下直後の広島を舞台に、仁義なき戦いをなくした欲望の赴くままに抗争を繰り広げるヤクザ集団。主演の藤原太夫かしゃへる広島舟「じやんのこ」も大流行。合計9作が製作された。

その「仁義なき戦い」がまた「イメージを一新し東映京都撮影所で製作される。新作に挑

組長の忠告で大連・栗野(岸辺一雄)は跡目候補となるものの、どうなるのか、見え切らずに自分の門閥は争う



栗野の跡目候補に不服の岸辺(佐藤浩市)は組長候補に名乗りを上げ、柳井と龍(長山瑠)を巻き込む



坂本監督はこの時代に、いつかギョギョウギョウとした男運による新「仁義なき戦い」はきっと熱い映画に違いない。

うギョギョウとした男運による新「仁義なき戦い」はきっと熱い映画に違いない。

うギョギョウとした男運による新「仁義なき戦い」はきっと熱い映画に違いない。

うギョギョウとした男運による新「仁義なき戦い」はきっと熱い映画に違いない。

知なしの門閥争(川口松太郎)と動野組(佐藤浩市)は長年ヤクザをどう取り扱うか、敵対する運命に



ストーリー
西大阪の倉田組に嫁らす11歳の少年二人は、ヤクザを救った。後の栗野組幹部・門倉(豊川悦司)と韓国入フアン(ミリー)・ホヌ・柳野(船山英策)である。ある日、日本最大級の勢力組織・左馬組組長が急死。門倉が強目の長行力候補となった事が抗争の発端となり、流血の惨事が巻き起こる。今秋・全国東映洋画系劇場にて公開。

映画黄金時代の遺跡・NHK朝の連ドラで復活? ~大映京都撮影所跡~
京都は日本映画発祥の地と言われるだけあって、多くの撮影所が存続した。その跡地で一際輝くのが大映京都撮影所跡地だ。勝新太郎、市川右太衛門、中村錦之助ら大スターを生み、黒澤明監督「羅生門」など国際映画祭でグランプリを受賞した数々の名作を生み出した大映京都撮影所。その跡地は右京区の大映通り商店街外れは「マシソン」となっており、今は石佛の残像のみである。
その栄光ある撮影所が、フジテレビで復活する事になった。この10月からスタートのNHK朝の連続テレビ小説「オールドリー」は、黄金期の大映京都撮影所をモデルに、映画に魅せられた女性の半生を描く作品。出演は岡本綾、藤山直美、林与一、長島一茂、船木一夫、佐々木謙之介ら。今暮る京都の映画黄金時代にどうご期待!

「火中の栗」 布袋寅泰が拾う

「仁義なき戦い」に挑戦の心意気!